

テトテトテトテト



校長だより 2024.1.29 NO.8

中学部生徒発信！！「松ろう防災の日」

今年は、元旦に能登半島地震、二日に羽田空港の航空機事故があり、衝撃的な出来事が続く年明けとなりました。被災した方々やご遺族には、心からお見舞い申し上げます。誰もが、いつ、どこで自分が当事者になるか分からないと強く思ったことでしょう。

そのような中、1月19日に中学部生徒による「松ろう防災の日」イベントが開催されました。

今年度、中学部の総合的な学習の時間では、「防災」をテーマに課題解決的な学習を展開してきました。ゲストティーチャーとして、松江市防災部の中谷さんに協力いただき、中学部の生徒3名は避難所生活について体験的に学びました。また、地域に出かけ、備蓄倉庫の見学や起震車体験も行いました。



この防災の日イベントで、とても感心したことは、これまでの学習の成果を発表するに留まらず、参加者の体験的な学びが随所に設定されていたことです。はじめに「南海トラフ地震」について学び、実際に起震車に乗って、震度7を体感しました。そして、避難所生活を運営するためのダンボールベット・簡易トイレ・衝立を参加者全員で協力して作りました。それから、災害食の作り方について、生徒が分かり

やすく実演してくれ、ごはんと蒸しパンの試食もしました。最後に、生徒たちが話し合いを重ねながら取り組んできた「聴覚障がい者のための非常持ち出し袋」について発表がありました。生徒たちが学習者から防災リーダーとして活動できる力を付け、成長したことを誇らしく感じました。

生徒たちは防災について主体的に学び、「〇〇について伝えたい。」という思い・願いをもち、参加型の防災学習を企画・運営するという深い学びへと繋がりました。

